

特集1 第3回看護理工学会学術集会のご案内

特集2 第3回看護理工学入門セミナーのご案内

学会報告 (1) 日本医用画像工学会大会(JAMIT) in 金沢 参加報告

学会報告 (2) 国際モダンホスピタルショウ2015 参加報告

特集1 第3回看護理工学会学術集会のご案内

HP:<http://atalacia.com/>



「看護と理工学の連携研究の萌芽」

会期

2015年**10月10日(土)・11日(日)**

大会長

森川 茂廣
(滋賀医科大学・基礎看護学講座)

会場

立命館大学朱雀キャンパス5F大ホール
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
JR嵯峨野線・京都市営地下鉄二条駅下車すぐ

副大会長

平井 慎一(立命館大学)
武田 利明(岩手県立大学)

《特別講演》

認知症の本人と向き合う認知症診療とケアの最前線

-看護と工学に期待すること-

演者 藤本 直規(医療法人藤本クリニック)

座長 森川 茂廣(滋賀医科大学)

《立命館グローバル・イノベーション研究機構特別セッション》

「どこでも高度医療実現のための先端ICT技術」

オーガナイザー 陳 延偉(立命館大学)

口演発表6題

《シンポジウム》

「ニーズ・シーズを生かすマッチングへ」

モデレーター 太田 裕治(お茶の水女子大学)

紺家 千津子(金沢医科大学)

基調講演 谷下一夫(ものづくりコモンズ常任理事、早稲田大学)

演者 山田 憲嗣(大阪大学大学院)

村山 陵子(東京大学大学院)

一般演題 95題

口演発表 36題

ポスター発表 59題

企業展示 7社

特集2 第3回 看護理工学入門セミナーのご案内

<http://www.rounenkango.m.u-tokyo.ac.jp/seminar2015/program.html>

近年の看護学研究では、他分野の研究者との協働による革新的な報告が多く見られるようになって参りました。これは、臨床現場で患者の療養生活を支えるために看護師の職務が高度化するに伴って、臨床の疑問や問題点を明確化し、看護師のニーズを的確に反映した技術や機器の開発することの必要性が高まっているためであろうと考えられます。こうした取り組みは看護理工学と言う新たな学問分野として創設され、一昨年度には、[看護理工学会](#)も立ち上げられました。このような潮流を受け、私共は、看護理工学研究を実践できる人材を育成するために、一昨年度より看護理工学入門セミナーを開催しております。看護理工学研究において、病態生理を明らかにするための分子生物学的解析および工学的測定技術、問題の本質にアプローチする新たな看護技術・機器の開発に必要とされる基礎知識などを皆様にご提供いたします。

この度東京大学出版会から、看護理工学に関する本邦初の教科書「看護理工学」を9月頃に発刊することになりました。過去2回そして今回のセミナーの講義に即した内容となっております。是非ご参照いただければ幸いです。

今年は多数の参加希望をいただき、早々に100名の定員に達しましたので申込みを締め切らせていただきました。ご参加いただけなかった方々、大変申し訳ありませんでした。来年のセミナーへのご参加よろしく願いたします。

<プログラム>

1日目(10/31)	
13:00~14:10	看護理工学の必要性と意義 東京大学 老年看護学/創傷看護学分野 教授 真田弘美
14:10~16:10	看護理工学研究の目的とプロセス —リサーチクエスト、研究デザイン、統計解析、倫理など— 東京大学 社会連携講座アドバンストナーシングテクノロジー 特任准教授 村山陵子 東京大学 老年看護学分野 助教 玉井奈緒 東京大学 老年看護学/地域看護学分野 助教 飯坂真司
16:10~16:30	休憩
16:30~18:30	看護学における生物学的アプローチ —生理学、病理学、分子生物学など— 東京大学 創傷看護学分野 特任講師 峰松健夫 東京大学 創傷看護学分野 特任助教 池田真一 帝京大学 解剖学教室 助教・東京大学老年看護学分野 客員研究員 西島良美
19:00~	参加者懇親会

2日目(11/1)	
9:00~10:20	看護学における工学的アプローチ —材料力学、機械力学、計測工学など— 東京大学 ライフサポート技術開発学(モルテン)寄附講座 特任准教授 森武俊 東京大学 ライフサポート技術開発学(モルテン)寄附講座 特任助教 野口博史
10:20~10:40	休憩
10:40~12:05	看護理工学研究手法とその応用I —サーモグラフィ、質的スケッチ技法など— 東京大学 ライフサポート技術開発学(モルテン)寄附講座 特任准教授 森武俊 東京大学 社会連携講座アドバンストナーシングテクノロジー 特任講師 大江真琴 東京大学 老年看護学分野 助教 玉井奈緒
12:05~13:00	休憩
13:00~15:10	看護理工学研究手法とその応用II —超音波画像検査法、プロットング、画像解析など— 東京大学 創傷看護学分野 特任助教 敷中幸一 東京大学 ライフサポート技術開発学(モルテン)寄附講座 特任助教 吉田美香子 東京大学 創傷看護学分野 特任講師 峰松健夫 東京大学 老年看護学分野 講師 仲上豪二朗
15:10~15:30	休憩
15:30~17:00	展望と課題 東京大学 社会連携講座アドバンストナーシングテクノロジー 特任准教授 村山陵子 東京大学 社会連携講座アドバンストナーシングテクノロジー 共同研究員 田邊秀憲 東京大学 ライフサポート技術開発学(モルテン)寄附講座 特任准教授 森武俊

学会報告(1) 日本医用画像工学会大会(JAMIT) in 金沢 参加報告

東京大学大学院医学系研究科 ライフサポート技術開発学(モルテン) 寄附講座

特任講師 野口 博史

日本医用画像工学会大会(7/30~8/1)へ参加する機会があったので報告する。この学会は、日本医用画像工学会が主催する学会で、石川県金沢市で開催された。200~300人程度の参加者の学会ではあるが、オーラルセッション、ポスターセッション、教育講演、シンポジウム、画像処理に関するコンテストなど盛りだくさんの内容であった。

内容は、医用画像というだけあり、MRIやCTなどの画像、特に3次元医療画像データの画像処理技術、あるいはその画像装置開発に関する発表が多く、発表者は比較的工学系の方が多量のもの、医師や放射線技師などの発表もみられた。

今回のシンポジウムの1つとして「保健画像工学への展開」があったのに代表されるように、必ずしも疾患の発見などを対象としない、超音波画像、サーモグラフィー、X線画像を、看護や理学療法などの領域へと展開する発表も見られた。実際、参加する契機となったのは、「褥瘡アセスメントにおけるエラストグラフィを用いた深部膿瘍・浮腫組織の同定の試み」の発表の中で画像処理部分に関わっていたからである。近年、エコーによる検査技術として、組織の柔らかさを見るエラストグラフィという手法が開発されてきており、乳がん検査や肝臓の検査に用いられつつある。その技術を、褥瘡の深部のアセスメントでも難しい膿瘍や浮腫の同定に、通常のBモード画像に加えてエラストグラフィも使い、更には画像処理で定量化することで支援することを狙う研究についての発表である。超音波診断にも詳しい臨床の方からのフィードバックもあり、他分野の方からの意見をいただける機会にもなった。小規模ではあるが国内の医療画像に関する工学並びに医学分野の方々集まる会議なので、最先端の医療画像に関する動向や処理技術自体を知りたい場合には、参加されるとよいかも。しれない。



学会報告(2) 国際モダンホスピタルショウ2015 参加報告

東京大学大学院 医学系研究科 老年看護学/創傷看護学 修士課程1年 色摩 茉衣子

この度国際モダンホスピタルショウ2015に参加したので報告する。国際モダンホスピタルショウは、一般社団法人日本病院会、一般社団法人日本経営協会が主催する今年で42回目を迎える保健・医療・福祉に関する国内最大規模の総合展示会である。出店社数は350社、来場者数は80000人に及ぶ。今年のテーマは「健康・医療・福祉の新時代へ ~連携と地域包括ケアの充実を目指して」とされ、超高齢化社会にむけた医療・介護を支える先駆的な技術やそれらを利用した地域での取り組みの紹介・提案がなされていた。

看護・介護ロボットの展示では、介護者の移乗負担軽減のためのロボットスーツや要介護者の自律支援のための服薬支援ロボット・食事支援ロボットなどが紹介されており、実際に体験することができるものもあった。また、主催者企画として、多くの分野で注目されているウェアラブル端末が集約されており、家族が見守れるよう身に着けた方の居場所や活動状況がわかる腕時計型端末やスマートグラスの医療分野での導入事例などが紹介されていた。私もスマートグラスをつけてみたが、はじめは視点を合わせることが難しかったものの慣れると、作業を行いながら確認したい情報を見ることができると、安全性や作業効率の改善につながると感じた。

ホスピタルショウは展示にとどまらず、テーマに沿ったカンファレンスやセミナーも数多く企画されている。さらに、事前登録をすれば誰でも無料で参加することができるので、お勧めである。

皆様からの論文の投稿をお待ちしております！

看護理工学会事務局:(株)春恒社 学会事業部内 〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル

tel.03-5291-6231 fax.03-5291-2176 E-mail:nse-society@umin.ac.jp

看護理工学会

検索 🔍

URL:<http://nse.umin.jp/index.html>

編集 看護理工学会広報委員